

業務委託（測量・建設コンサルタント等除く）契約の  
入札における入札状況調査要領

制定 平成 29 年 3 月 17 日  
最近改正 令和 6 年 11 月 29 日

（目的）

第1条 この要領は、水道局において発注する業務委託（測量・建設コンサルタント等除く）契約の入札結果を踏まえて実施する入札状況調査（以下「調査」という。）に関して必要な事項を定め、競争性を確保した公正な入札及び円滑かつ確実な事務事業の遂行に資することを目的とする。

（調査の対象）

第2条 調査は、開札の結果、次の各号のいずれかに該当するときに実施する。

- (1) 入札参加者がない場合
- (2) 入札状況から判断して管財課長が必要と認める場合

（調査方法）

第3条 調査は、契約請求課において当該案件の入札参加者あるいは入札参加資格を満たすと想定される事業者（以下「参加可能業者」という。）から事情聴取する方法による。

なお、調査内容等については、管財課と契約請求課の協議により決定する。

- 2 前項の事情聴取は、次の各号に掲げる内容に該当する 7 者以上に対して実施するものとし、対象者が 7 者に満たない場合は、該当する事業者全者とする。
  - (1) 該当案件の入札参加者（途中で辞退したものも含む）を含め、本市発注の同様の案件の入札に参加した参加可能業者
  - (2) 前号に規定する事業者がない場合は、他の公共団体等の同様の案件の参加可能業者

（調査後の取扱い等）

第4条 契約請求課は実施した調査結果を事情聴取一覧表（別紙）により作成し、入札結果の要因分析及び今後の対策に関する見解を添えて管財課に報告すること。

- 2 調査にあたって、公正な入札を阻害する疑いが見られた場合は、大阪市水道局談合情報等対応マニュアルの取扱いに準じること。
- 3 管財課長が必要と判断した場合は、調査結果等について大阪市水道局契約事務審査会にて審議すること。

附 則

この要領は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、令和元年 5 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、令和 6 年 12 月 1 日から施行する。

## 事 情 聽 取 一 覧 表

案 件 名 称							
区 分 (入札 参加者・参加可能業者)							
業者名及び事情聴取を受けた者							
事 情 聽 取 を 行 つ た 者 (市 側)							
日 時							
場 所							
事情聴取 (例)	①本件に参加した(しなかった)理由は何か。 ②本件について参加者が1者(少ないこと)の理由として考えられることは何か。 ③落札率が高いあるいは低いことについて理由として考えられることは何か。 ④その他(状況に応じて聴取) ・入札参加資格は適正であるか。 ・入札の時期・履行期間は適正であるか。 ・その他仕様書の内容等で、入札参加もしくは積算しにくい事項はあるか。(事業規模等) ・予定価格は適正な金額であるか。						